



稚鮎の放流
大きくなつて戻ってきてね

4月19日、日野川漁業協同組合今庄支所裏の日野川において、稚鮎の初放流が行われました。これは日野川漁業協同組合が、今年2月に完成した中間育成施設で初めて育てた鮎を、河川愛護と環境の大切さを学びながら放流しようと企画したもので、今庄なないろこども園の園児が参加、園児たちはバケツに入った鮎の赤ちゃんに、「かわいいね」「元気でね、ばいばい」と言いながら静かに川へ放しました。稚鮎は、しばらくして遡上してくるということで、6月末からの鮎釣りシーズンには再会が楽しみです。



男と女のついでに
夢に向かって元気に生きる

4月21日、南条文化会館で男と女とのついでが開催され180人が参加しました。この講演会は女性と男性が、互いに人権を尊重しつつ、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を目指すことを目的として開かれ、日本で第一号の女性落語家である露の都さんより、自身の生い立ちと社会での奮闘ぶりが絶妙な口調で語られ、会場には笑いと感じがもたらされていきました。参加者たちは「強い気持ちがあれば必ず道は拓ける」という都さんの理念を強く心に刻んでいたようで、男女共同参画社会の実現に向け更に一歩進んだと感じられました。



30M級はしご付消防自動車お披露目
大きなはしご車、格好良いね

4月25日、南越前町役場駐車場場で南越前消防組合消防本部による新はしご車の副管理者(町長) 査閲式が行われました。近年、火災が複雑多様化していることから、最先端の機能をもつ新型車輛を導入したことによるもので、屋上の逃げ遅れた人を救助するという模擬操法が行われました。集まってきた近くの住民や保育所、幼稚園の子どもたちは、はしご車の勇敢な姿に歓声をあげていました。はしご車が出動するような緊急事態が起こらないことを願っていますが、万一が災害が発生した場合は、大きな活躍が期待されます。



こうの大漁まつり
新鮮な海の幸、大盤振る舞い

4月28日、甲楽城拠点公園駐車場でこの大漁まつりが開催されました。この日は浜風が冷たく感じましたが、大変気持ちの良い穏やかな一日となり、会場には町内外から大勢の人が集まり、新鮮な海の幸を味わっていました。小魚すくい取り、大漁鍋の振る舞い、活魚すくい取りなどには開始前から長い行列ができ、どの催しもあつという間に品が無くなり関係者はうれしい悲鳴をあげていました。子供の楽しそうな笑顔と大人の満足そうな表情がたくさん見られたことで、漁の安全と大漁が期待できます。